

令和5年度支部事業実施概要

(令和6年3月31日現在)



1 国内災害救護

「災害から人々のいのちと健康を守ること」を軸として、災害時の初動救護活動を迅速・的確に行うための人材の育成に努めるとともに器材の整備を行い、地域においては防災・減災に関する知識の普及啓発活動を推進し、災害対応能力の強化を図る。

(1) 医療救護班の編成と防災ボランティアの登録

県内9か所の自治体病院等に赤十字医療救護班を編成するとともに、赤十字救急法等指導員からなる防災ボランティアを登録している。

① 医療救護班の編成状況

地区	救護班名	救護班員の登録者						このの ケア 指導者
		医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計	
村山	日赤山形県立中央病院救護班	5名	2名	5名	1名	2名	15名	1名
	日赤山形市立病院済生館救護班	1名	1名	2名	1名	2名	7名	
	日赤北村山公立病院救護班	3名	1名	4名	1名	3名	12名	2名
	日赤山形県立河北病院救護班	1名	1名	2名		2名	6名	2名
最上	日赤山形県立新庄病院救護班	2名	1名	4名		3名	10名	2名
置賜	日赤米沢市立病院救護班	2名	1名	2名	1名	2名	8名	1名
	日赤公立置賜総合病院救護班	1名	1名	2名	1名	2名	7名	1名
庄内	日赤鶴岡市立荘内病院救護班	1名	1名	4名		2名	8名	1名
	日赤日本海総合病院救護班	1名	1名	2名		2名	6名	1名
合 計		17名	10名	27名	5名	20名	79名	11名

② 防災ボランティアの登録状況

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合 計
41名	1名	10名	15名	67名

(2) 災害救護対応力の強化

① 地域防災訓練への参加

県及び市が主催する防災訓練に参加し、地域の防災関係機関と協働して災害発生時の初動期対応や相互連携について確認を行い、知識及び技術の向上に努めた。

No.	訓練名	期 日	場 所	参加者
1	山形県・天童市合同総合防災訓練	9月10日(日)	天童市スポーツセンター(天童市)	日赤県立河北病院救護班 6名 支部職員 4名 合 計 10名
2	村山市防災訓練	10月29日(日)	村山市立戸沢小学校(村山市)	日赤北村山公立病院救護班 8名 支部職員 2名 合 計 10名
3	庄内空港SCU設置・運営訓練	11月1日(水)	庄内空港(酒田市)	支部職員 2名
4	長井市総合防災訓練	11月5日(日)	長井市立平野小学校(長井市)	日赤公立置賜総合病院救護班 6名 支部職員 3名 合 計 9名
5	東北管区広域緊急援助隊合同訓練	11月7日(火)	県警察三隊 合同庁舎(天童市)	支部職員 4名
6	スキー場安全合同総合訓練	12月19日(火)	蔵王猿倉スキー場(上山市)	支部職員 1名



搬送された傷病者のトリアージ



傷病者の状態に応じて処置を実施

② 第1ブロック(北海道・東北)支部合同災害救護訓練への参加

コロナ禍で令和3年度以降開催を見合はせていたが、今年度は参集形式での開催となり、学習訓練ではEMIS(広域災害・救急医療情報システム)やJ-SPEED(災害診療記録)などの災害救護の知識の習得を行い、また、実働訓練では仮想避難所の巡回診療及びアセスメント(調整)等を行うなど、災害発生を想定した訓練を実施し、災害救護技術の向上及び広域での連携強化に努めた。

訓練名	期日	場所	参加者
日本赤十字社 第1ブロック支部 合同災害救護訓練	10月20日(金) ～ 10月21日(土)	石巻赤十字病院 災害医療研修センター (宮城県)	日赤日本海総合病院救護班 6名 支部職員 3名 合計 9名



災害時の医療情報等の伝達システムの学習訓練



仮想避難所における巡回診療訓練

③ 各種会議・研修会への救護班及び支部職員の派遣

各種会議・研修会に救護班及び支部職員を派遣し、知識の向上に努めた。

No.	研修・会議名	期日	場所	参加者
1	救護業務打合せ会議	4月26日(水)	日赤県支部 (山形市)	日赤各病院救護班員 13名 支部職員 5名 合計 18名
2	防災教育事業主任指導者研修(Web)	4月28日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
3	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会(Web)	5月8日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
4	防災気象情報等に関する連絡会(Web)	5月26日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
5	救護業務担当者研修会(Web)	6月12日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
6	第1ブロック支部事業推進課長会議	6月15日(木) ～16日(金)	日赤岩手県支部 (岩手県)	支部職員 1名
7	第1回救急救命率向上対策専門部会	6月26日(月)	山形県庁 (山形市)	支部職員 1名
8	内閣府ISUTサイトの活用にかかる説明会(Web)	6月30日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 2名

No.	研修・会議名	期日	場所	参加者
9	山形県災害ボランティアセンター運営研修会(Web)	7月14日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
10	山形市防災会議	8月9日(水)	山形市役所 (山形市)	支部職員 1名
11	全国赤十字救護班研修会	8月19日(土) ～20日(日)	石巻赤十字病院 (宮城県)	日赤公立置賜病院救護班員 6名 支部職員 1名 合計 7名
12	防災教育事業指導者 フォローアップ研修	9月7日(木) ～8日(金)	日赤大阪府支部 (大阪府)	支部職員 1名
13	日赤災害医療コーディネート 研修会	9月23日(土) ～24日(日)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
14	こころのケア指導者養成研修会	10月11日(水) ～12日(木)	日赤本社 (東京都)	日赤河北病院救護班員 1名
15	山形県国民保護共同図上訓練	10月18日(水)	山形県庁 (山形市)	支部職員 1名
16	テールゲートリフター特別教育 インストラクター養成講習	11月20日(月)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
17	第2回急救救命率向上対策 専門部会(Web)	12月5日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
18	令和5年度上半期災害対応 報告会(Web)	12月14日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 2名
19	山形県災害ボランティア支援 ネットワーク連絡会(Web)	2月29日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
20	鶴岡市防災会議	3月12日(火)	出羽庄内国際村 (鶴岡市)	支部職員 1名
21	令和6年能登半島地震にかかる 報告会(Web)	3月21日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 9名

④ 日赤山形県支部主催災害救護訓練(学習訓練)の実施

赤十字救護班としての基本的な行動等を学習し、救護班の災害対応力の向上に努めた。

No.	訓練名	期日	場所	参加者
1	日赤山形県支部災害救護 訓練(Web学習訓練)	5月15日(月) ～6月16日(金)	各病院及び 日赤県支部 (山形市他)	日赤各病院救護班員 76名

⑤ 防災士資格の取得

防災に関する幅広い知識を身につけ、災害発生時に適確な対応を取るため、支部職員が防災士資格を取得した。

No.	研修名	期日	場所	参加者
1	山形県防災士養成研修講座	11月25日(土) ～26日(日)	山形県庁講堂 (山形市)	支部職員 2名

(3) 災害救護活動用器材の整備

① 野外炊飯器、ワンタッチテントの配備

災害時に迅速に救護活動を実施するため、野外炊飯器、ワンタッチテントを下記の地区分区へ配備した。

野外炊飯器配備先 (2)	天童市地区、小国町分区
ワンタッチテント配備先 (5)	山形市地区、長井市地区、戸沢村分区、高畠町分区、飯豊町分区

(4) 救援車の設置助成

災害時における地域住民の避難・救護活動、その他赤十字事業の推進を図るため、地区分区に救援車設置に係る経費を助成した。

助成先	長井市地区、金山町分区
助成額	2,543,000円



(5) 赤十字防災セミナーの実施

自治会や企業、赤十字奉仕団の要請を受け、指導者を派遣し、非常災害時の炊き出し実習や防災・減災の知識について学ぶ防災セミナーを実施した。

No.	行事名	期日	場所	内 容	参加者
1	南陽市立漆山小学校 防災セミナー	6月8日(木)	南陽市立漆山小学校 (南陽市)	・災害時の避難所について ・災害救援物資の展開体験(段ボールベッド)	南陽市立漆山小学校生徒、教師 12名 支部職員 2名 合計 14名
2	協立社寒河江生協 防災セミナー	6月22日(木)	朝日町立北部公民館・秋葉山交遊館 (朝日町)	・災害への備え ・災害救援物資の展示、紹介 ・災害時の非常食づくり	あさひこ～ふ委員 13名 支部職員 1名 合計 14名
3	南陽市北部地区 民生委員児童委員協議会 防災セミナー	7月4日(火)	南陽市金山公民館 (南陽市)	・災害への備え ・災害救援物資の展示・紹介及び展開体験(段ボールベッド、避難所用簡易テント)	民生委員児童委員 25名 支部職員 1名 合計 26名
4	白鷹町わかあゆ会赤十字 奉仕団防災セミナー	8月6日(日)	白鷹町鮎貝地区 コミュニティセンター (白鷹町)	・災害への備え ・災害救援物資の展示・紹介及び展開体験(段ボールベッド、避難所用簡易テント)	赤十字奉仕団員 10名 支部職員 1名 合計 11名
5	山形市防災フェスティバル	8月26日(土)	山形ビッグウイング (山形市)	・家具安全対策 ゲーム(おうちのキケン)	防災フェスティバル来場者 7名 支部職員 1名 合計 8名
6	JA鶴岡女性部上郷支部 防災セミナー	9月4日(月)	上郷コミュニティセンター (鶴岡市)	・災害への備え ・災害時の非常食づくり	JA鶴岡女性部員 30名 奉仕団支部指導講師 1名 支部職員 1名 合計 32名
7	湯田川地区自主防災会 防災セミナー	10月12日(木)	湯田川コミュニティセンター (鶴岡市)	・災害時の非常食づくり	自主防災会員 8名 支部職員 1名 合計 9名
8	寒河江市在宅医療・介護連携支援室たんぽぽ 防災セミナー	10月12日(木)	寒河江市ハートフルセンター (寒河江市)	・災害への備え ・災害救援物資の展示・紹介	介護職員 40名 支部職員 1名 合計 41名
9	ひがしねあそびあランド・蟹沢赤十字奉仕団共催 防災セミナー・幼児安全法講習	11月5日(日)	東根市西部防災センター (東根市)	・災害への備え ・幼児安全法講習	一般参加者及び 赤十字奉仕団員 18名 講習指導員 1名 支部職員 1名 合計 20名
10	JA鶴岡女性部 防災セミナー	12月3日(日)	鶴岡市農村センター (鶴岡市)	・災害への備え ・災害時の非常食について ・災害救援物資の展示・紹介及び展開体験(段ボールベッド)	JA鶴岡女性部員 100名 奉仕団支部指導講師 1名 支部職員 2名 合計 103名
11	山形県看護協会 防災セミナー	12月6日(水)	山形県看護協会 (山形市)	・災害への備え ・災害時の非常食について ・災害救援物資の展示・紹介及び展開体験(段ボールベッド・簡易テント)	看護協会会員 40名 支部職員 1名 合計 41名
12	山形県バス協会 防災セミナー	1月10日(水)	山形県自動車会館 (山形市)	・災害への備え ・災害救援物資の展示・紹介及び展開体験(段ボールベッド・簡易テント)	バス協会会員 12名 支部職員 1名 合計 13名
13	河北町社会福祉協議会 防災セミナー	3月1日(金)	河北町総合福祉センター (河北町)	・災害時の非常食づくり ・令和6年能登半島地震にかかる山形県支部の対応紹介	町民 15名 支部職員 1名 合計 16名

No.	行事名	期日	場所	内 容	参加者
14	認定NPO法人 発達支援研究センター	3月13日(水)	霞城セントラル ヘルシー クッキング ルーム (山形市)	・災害への備え ・災害時の非常食 づくり ・災害救援物資の展 示・紹介及び展開 体験(段ボールベ ッド・自動ラップ式 簡易トイレ)	就労支援準備事業参加者等 15名 支部職員 1名 合 計 16名
15	山形市第五地区町内会 連合会防災セミナー	3月15日(金)	東部公民館 (山形市)	・災害への備え ・令和6年能登半島 地震にかかる山形 県支部の対応紹介 ・災害救援物資の展 示・紹介及び展開 体験(段ボールベ ッド・簡易テント・ 自動ラップ式簡易 トイレ)	町内会防災リーダー等 36名 支部職員 2名 合 計 38名
					受講者数合計 402名



災害救援物資(段ボールベッド)の設置・展開や非常食づくりなどの体験セミナーの要望が増えている

(6) 地域包括ケアシステムへの貢献

医療・介護・予防等の包括的確保を目的とした地域包括ケアへ貢献するため、各種会議・研修に職員を派遣した。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参 加 者
1	第1回地域包括ケア担当者会議(Web)	5月30日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
2	地域包括支援センター等協議会研修会	6月14日(水)	東部公民館 (山形市)	支部職員 1名
3	第2回地域包括ケア担当者会議	10月31日(火) ～11月1日(水)	日赤幹部看護師 研修センター (東京都)	支部職員 1名

(7) 災害救護活動

① 秋田県における令和5年7月14日からの大雨災害

7月14日からの大雨により、秋田県では死者、けが人が出たほか、県中央部を中心に広範囲に渡り多数の床上浸水が発生するなど甚大な被害が発生したため、第1ブロック(北海道・東北)各支部及び日赤本社と連携し、被害状況の確認や日赤医療救護班及びこころのケア要員の派遣、救援物資の輸送等について、連日調整を図った。

(調整の結果、こころのケアのニーズが高いことから、輪番制による各支部からのこころのケア要員の派遣を計画したが、ケア対象者数が減少したため、当支部からの派遣は見送り(秋田県支部のみでの対応)となった。)

② 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日(月)16時06分から石川県能登地方では連続して地震が発生し、最大ではマグニチュード7.6、震度7の地震が観測され、該当の地域に甚大な被害をもたらした。

日本赤十字社は、この震災被害に対し、救護班の派遣や救援物資の配布等、災害救護活動に全社を挙げて取り組んでいる。

山形県支部も発災直後から救護体制に移行し、初動では県庁や他県支部と連絡を取るなどして被害状況の情報収集に努め、石川県能登地方へ救護班を派遣した。

北海道・東北ブロックの救護班については、令和6年3月24日(日)をもって派遣終了となったことから、令和6年3月31日(日)に、山形県支部の救護体制を解除した。

ア 連絡調整員(リエゾン)の派遣

山形県災害対策本部に連絡調整員を派遣し、被災情報の収集及び関係機関との情報共有に努めた。

派遣先	派遣期間	活動内容	人 数
山形県災害対策本部 (山形県庁)	1月1日(月) ～2日(火)	情報収集及び関係機関との連携	各日 支部職員1名
		山形県災害対策本部員会議への参加	
		県へ義援金用募金箱の貸与	

イ 赤十字救護班の派遣

被災者救援のため、日本赤十字社本社・被災地支部などと調整し、赤十字救護班を派遣した。

派遣先	派遣期間	救護班派遣病院	人 数
日本赤十字社石川県支部 【活動場所】石川県能登町	1月12日(金) ～16日(火)	日本海総合病院	日本海総合病院 6名 日赤山形県支部 2名
日本赤十字社石川県支部 【活動場所】石川県珠洲市	1月26日(金) ～30日(火)	北村山公立病院	北村山公立病院 7名 日赤山形県支部 2名
日本赤十字社石川県支部 【活動場所】石川県能登町	2月3日(土) ～7日(水)	公立置賜総合病院	公立置賜総合病院 5名 日赤山形県支部 2名
日本赤十字社石川県支部 【活動場所】石川県珠洲市	2月29日(木) ～3月4日(月)	山形県立河北病院	山形県立河北病院 7名 日赤山形県支部 2名



現地支部より被災地状況の説明を受ける救護班



感染対策・プライバシー配慮が施された避難所



被災者の話を聞き、心情に寄り添うこころのケア



在宅避難者宅を戸別訪問し、健康状態等を確認



風邪症状の子供を道の駅に設置した救護所へ案内



救護所内診察室での医師による症状等の聞き取り



自衛隊の避難所への物資搬入の支援



高齢者の多い避難所における除雪支援

(8) 被災世帯への援護

火災等で住家が被災した世帯に対して、毛布・緊急セット等の救援物資及び見舞金を交付したほか、災害による死亡者弔慰金を贈呈して被災世帯の援護を図った。

[救援物資の配付及び見舞金、弔慰金の交付状況]

被災者数	88名 42世帯	
災害救援物資の配付	毛 布	64 枚
	緊急セット	30 個
災害見舞金の交付		690,000 円
災害弔慰金の交付		100,000 円



被災世帯へ配布される災害救援物資(毛布・緊急セット・学用品セット)

(9) 国内義援金の受付状況

No	義援金名	件 数	金 額
1	令和5年5月能登地方地震災害義援金	227 件	479,440 円
2	令和5年台風第2号等大雨災害義援金	167 件	260,853 円
3	令和5年6月30日からの大雨災害義援金	188 件	219,106 円
4	令和5年7月7日からの大雨災害義援金	284 件	1,494,448 円
5	令和5年台風第6号災害義援金	174 件	153,842 円
6	令和5年台風第13号災害義援金	180 件	215,433 円
7	令和6年能登半島地震災害義援金	1,216 件	138,909,079 円
合 計		2,436 件	141,732,201 円

2 救急法等の普及

人間のいのちと健康、尊厳を守るために、救急法等の5つの講習を通して、具体的な知識や技術を県民に広く普及し、緊急時の応急対応能力を高める。

(1) 指導員の登録状況

救急法	水上安全法	雪上安全法	幼児安全法	健康生活支援講習	合 計
120名	22名	3名	34名	3名	182名

※上記人数は、資格別登録者数。登録者実数は130名。

(2) 救急法等講習の実施

各事業所、学校、サークル等からの開催希望に幅広く応じ、救急法等の講習会を積極的に実施した。

講習名	一般普及講習				短期講習		合 計	
	基礎講習		養成講習				実施回数	受講者数
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救急法	28 回	480 名	15 回	262 名	299 回	7,694 名	342 回	8,436 名
水上安全法			2 回	13 名	25 回	788 名	27 回	801 名
雪上安全法			5 回	58 名	0 回	0 名	5 回	58 名
幼児安全法			1 回	11 名	82 回	1,250 名	83 回	1,261 名
健康生活支援講習			1 回	8 名	0 回	0 名	1 回	8 名
合 計	28 回	480 名	24 回	352 名	406 回	9,732 名	458 回	10,564 名



感染症対策で開催を見合わせていた養成講習も再開し、多くの方々に参加いただいた

(3) 指導員の育成

指導員と支部との連携を図るとともに、指導員及び職員の知識や技術の向上のため、各種会議・研修会等を開催した。

No	研修名	期 日	場 所	参加者
1	赤十字講習担当課長会議 (Web)	4月27日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1 名
2	救急法等指導員会議	5月22日(月)	山形県総合運動公園 (天童市)	救急法等指導員 38 名 支部職員 5 名 合 計 43 名
3	赤十字講習新任担当者研修会	5月25日(木) ～26日(金)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1 名

No	研修名	期日	場所	参加者
4	赤十字救急法講師養成講習	11月14日(火) ～16日(木)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
5	赤十字幼児安全法講師研修会	12月18日(月) ～19日(火)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
6	健康生活支援講習講師研修会	12月19日(火) ～20日(水)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
7	水上安全法指導員I 養成講習	1月27日(土) ～28日(日) 2月3日(土) 2月10日(土)	宮城県総合運動公園 及びグランディ21 (宮城県)	支部職員 1名
8	救急法・水上安全法 指導員研修会(合同)	3月20日(水) 3月23日(土) 3月24日(日)	天童市総合福祉 センター(天童市) 及び 酒田市地域福祉 センター(酒田市)	救急法等指導員 62名 支部職員 3名 合計 65名
9	幼児安全法指導員研修会	3月20日(水) 3月23日(土) 3月24日(日)	天童市総合福祉 センター(天童市) 及び 酒田市地域福祉 センター(酒田市)	幼児安全法指導員 18名 支部職員 3名 合計 21名

(4) イベントを活用した救急法等の普及

一次救命処置の大切さを多くの県民の方に普及し、いのちの大切さについて広めていくために、フェスタや商業施設等で一次救命処置体験コーナーを設置した。

No	行事名	期日	場所	参加者
1	「スプリングフェスティバル はたらくるま大集合」での 一次救命処置体験コーナーの設置	5月5日(金)	山形市中心商店街 (山形市)	体験者 275名 支部職員 2名 合計 277名
2	「イオンモール三川 はたら くクルマ展」での一次救命処 置体験コーナーの設置	6月11日(日)	イオンモール三川 (三川町)	体験者 250名 支部職員 2名 合計 252名
3	「山形市防災フェスティバル」 での一次救命処置体験 コーナーの設置	8月26日(土)	山形ビッグウイング (山形市)	体験者 120名 支部職員 2名 合計 122名
4	「2023赤十字フェスタin たかはた」での一次救命 処置体験コーナーの設置	9月23日(土)	糠野目生涯学習館 (高畠町)	体験者 100名 救急法等指導員 2名 合計 102名
5	「ファーストエイドデーイベン ト」での一次救命処置体験 コーナーの設置 【新規】	9月23日(土)	イオンモール三川 (三川町)	体験者 50名 救急法等指導員 1名 支部職員 2名 合計 53名
6	「防災フェスティバル in イオンモール天童」での 一次救命処置体験コーナー の設置【新規】	3月20日(水)	イオンモール天童 (天童市)	体験者 80名 救急法等指導員 2名 合計 82名

3 赤十字奉仕団

地域社会における赤十字運動を推進していくため、赤十字奉仕団の育成と技術の向上に努める。

(1) 赤十字奉仕団の登録状況

区分	団数	団員数	
地域奉仕団	34団	2,023名	(男性 549名、女性 1474名)
特殊奉仕団	5団	224名	(男性 149名、女性 75名)
青年奉仕団	2団	108名	(男性 10名、女性 98名)
合計	41団	2,355名	(男性 708名、女性 1,647名)

(2) 赤十字奉仕団指導講師の委嘱

赤十字奉仕団活動の活性化と支部事業の推進を図ることを目的に、奉仕活動に精通し、ボランティア活動に対する様々な指導・助言等の役割を担う赤十字奉仕団指導講師を4名委嘱し、活動いただいた。

[指導講師の委嘱状況]

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合計
1名	0名	3名	0名	4名

(3) 本社・支部主催の各種研修・会議の開催状況

奉仕団活動の推進を図るため、各種研修・会議を開催した。

No	研修・行事名	期日	場所	参加者
1	令和5年度赤十字奉仕団担当者初任者研修会(Web)	4月14日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
2	第1回赤十字奉仕団山形県支部委員会	4月27日(木)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団委員長 9名 支部職員 4名 合計 13名
3	赤十字奉仕団委員長会議	4月27日(木)	山形県自治会館 (山形市)	奉仕団委員長 22名 支部職員 6名 合計 28名
4	第1回青年赤十字奉仕団全国協議会(Web)	5月17日(土)	自宅	青年赤十字奉仕団委員長 1名
5	赤十字奉仕団中央委員会 (Web)	6月1日(木) ~2日(金)	日赤本社 (東京都)	県支部委員会委員長 1名
6	支部赤十字奉仕団担当者会議(Web)	7月5日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
7	HIV/AIDSピアリーダー養成研修会(Web)	7月9日(日)	自宅	奉仕団員 3名
8	令和5年度全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7月11日(火) ~12日(水)	日赤本社 (東京都)	青少年赤十字賛助奉仕団幹事 1名
9	第1回奉仕団等プロジェクト型活動研修会(Web)	8月5日(土)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
10	青年赤十字奉仕団 第1ブロック協議会(Web)	8月19日(土)	自宅	青年赤十字奉仕団委員長 1名
11	赤十字奉仕団視察研修	9月6日(水) ~8日(金)	日赤長野県支部他 (長野県・富山県)	奉仕団員 8名 支部職員 2名 合計 10名
12	赤十字奉仕団第1ブロック委員長会議及び第1ブロック奉仕団担当者会議	10月3日(火) ~4日(水)	日赤青森県支部 (青森県)	県支部委員会委員長 1名 支部職員 1名 合計 2名
13	第2回奉仕団等プロジェクト型活動研修会(Web)	10月23日(月)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団委員長 1名 支部職員 1名 合計 2名

No	研修・行事名	期日	場所	参加者
14	第2回青年赤十字奉仕団全国協議会(Web)	2月23日(金)	自宅	青年赤十字奉仕団委員長 1名
15	第1ブロック青年赤十字奉仕団統一キャンペーーン(Web)	3月9日(土)	自宅	青年赤十字奉仕団委員長 1名
16	第3回奉仕団等プロジェクト型活動研修会(Web)	3月18日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
17	赤十字奉仕団指導講師会議	3月22日(金)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団指導講師 3名 支部職員 5名 合計 8名
18	第2回赤十字奉仕団山形県支部委員会	3月26日(火) ~27日(水)	ほほえみの宿 滝の湯 (天童市)	奉仕団委員長 9名 支部職員 4名 合計 13名

(4) 赤十字奉仕団ワールドカフェの実施【新規】

赤十字奉仕団相互の情報交換及び交流の場を提供し自団の活動参考にしていただくとともに、赤十字奉仕団関係事業へのご意見をいただき参考とするため実施した。

No	期日	場所	参加者
1	11月25日(土)	最上地域 ニューグランドホテル新庄	奉仕団員 (2団) 9名 支部職員 2名
2	11月26日(日)	庄内地域 いろり火の里 なの花ホール	奉仕団員 (4団) 6名 支部職員 2名
3	12月9日(土)	置賜地域 米沢エクセルホテル東急	奉仕団員 (4団) 7名 支部職員 3名
4	12月10日(日)	村山地域 滝の湯ホテル	奉仕団員 (3団) 6名 支部職員 3名

(5) 東日本大震災復興支援事業の実施

赤十字奉仕団が計画・実施した東日本大震災復興支援事業に、支部として事業実施を支援した。

行事名	期日	場所	参加者
令和5年度 東日本大震災復興支援事業	10月15日(日) ~16日(月)	気仙沼市大沢 地区大沢集会所 (宮城県気仙沼市)	地域住民 60名 高畠町赤十字奉仕団 11名 支部職員 4名 合計 75名



地域住民へ芋煮のふるまい



防災クイズや体操で地域住民と交流



メッセージツリーの作成



奉仕団と地域住民の記念撮影

(6) 奉仕団主催の研修・行事等開催状況

各団では、団員育成や地域における赤十字事業の普及のため、各種研修・行事等を開催した。

No	研修名	期日	場所	参加者
1	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団第1回役員会	4月10日(月)	日赤県支部 (山形市)	県青少年赤十字賛助奉仕団員 10名 支部職員 1名 合計 11名
2	山形県青少年赤十字賛助 奉仕団定期総会	4月23日(日)	霞城セントラル (山形市)	県青少年赤十字賛助奉仕団員 10名 支部職員 1名 合計 11名
3	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団第2回役員会	6月6日(火)	日赤県支部 (山形市)	県青少年赤十字賛助奉仕団員 8名 支部職員 2名 合計 10名
4	三川町赤十字奉仕団 支部視察研修	7月10日(月)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員 14名 支部職員 2名 合計 16名
5	酒田市本楯赤十字奉仕団 支部視察研修	7月10日(月)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員 54名 支部職員 2名 合計 56名
6	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団第3回役員会	7月21日(金)	日赤県支部 (山形市)	県青少年赤十字賛助奉仕団員 10名 支部職員 1名 合計 11名
7	白鷹町わかあゆ会赤十字 奉仕団防災セミナー【再掲】	8月6日(日)	白鷹町鮎貝地区 コミュニティセンター (白鷹町)	赤十字奉仕団員 10名 支部職員 1名 合計 11名
8	村山市戸沢赤十字奉仕団 支部視察研修	9月5日(火)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員 28名 支部職員 2名 合計 30名
9	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団研修活動	9月28日(木) ~29日(金)	・宮城県内震災遺構 ・日赤宮城県支部 (宮城県)	赤十字奉仕団員 11名 支部職員 1名 合計 12名
10	小国町赤十字奉仕団 支部視察研修	12月7日(金)	日赤県支部 (山形市)	小国町赤十字奉仕団員 8名 小国町分区職員 1名 支部、センター職員 5名 合計 14名

(7) 奉仕団主催の会合・研修の開催に合わせた赤十字ボランティア基礎研修会の開催

赤十字奉仕団に所属している団員の方々に対し、赤十字の組織、役割、赤十字ボランティアとして活動するための必要な知識等についてご理解いただき、赤十字ボランティアとしての意識の高揚を図ることを目的として各団主催の会合・研修開催時に合わせて、基礎研修会を開催した。

No	研修名	期日	場所	参加者
1	赤十字ボランティア基礎研修 (鮎川村赤十字奉仕団)	4月14日(金)	鮎川村農村交流 センター (鮎川村)	鮎川村赤十字奉仕団員 14名 鮎川村分区職員 1名 支部職員 1名 合計 16名
2	小国町赤十字奉仕団 支部視察研修 【再掲】	12月7日(金)	日赤県支部 (山形市)	小国町赤十字奉仕団員 8名 小国町分区職員 1名 支部、センター職員 5名 合計 14名
3	酒田市赤十字奉仕団 基礎研修	2月15日(木)	酒田市希望ホール (酒田市)	酒田市赤十字奉仕団員 200名 支部職員 1名 合計 201名

(8) モデル奉仕団の指定

奉仕団活動の強化推進を図るため、管内の地域奉仕団の中核となるようなモデル赤十字奉仕団を指定した。

指定年度	奉仕団名	活動テーマ
令和3年度～令和5年度	高畠町赤十字奉仕団	地域における奉仕活動

(9) 活動助成金の交付状況

各団のボランティア活動を推進するため、申請に応じて1団につき上限を11万円(モデル赤十字奉仕団は18万円)として活動助成金を交付した。

区分	申請団数	交付額
地域奉仕団	24団	1,825,000円
特殊奉仕団	5団	449,000円
青年奉仕団	0団	0円
合計	29団	2,274,000円

4 青少年赤十字

次世代を担う児童・生徒が、赤十字を正しく理解し、世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成に努める。

(1) 青少年赤十字加盟登録状況

地区	校種別区分	幼稚園 保育園	小学校 ※義務教育 学校を含む	中学校	高等学校	特別支援学 校	合計
村山	園・学校数	166 園	103 校	44 校	25 校	12 校	350 校
	加盟校数	11 園	38 校	29 校	11 校	1 校	90 校
	加盟率	6.6 %	36.9 %	65.9 %	44.0 %	8.3 %	25.7 %
	メンバー数	968 名	8,992 名	8,246 名	1,124 名	34 名	19,364 名
最上	園・学校数	25 園	18 校	9 校	7 校	1 校	60 校
	加盟校数	2 園	16 校	9 校	0 校	0 校	27 校
	加盟率	8.0 %	88.9 %	100.0 %	%	0.0 %	45.0 %
	メンバー数	245 名	4,235 名	1,357 名	0 名	0 名	5,837 名
置賜	園・学校数	62 園	50 校	18 校	14 校	4 校	148 校
	加盟校数	5 園	23 校	7 校	7 校	0 校	42 校
	加盟率	8.1 %	46.0 %	38.9 %	50.0 %	0.0 %	28.4 %
	メンバー数	417 名	4,716 名	1,778 名	218 名	0 名	7,129 名
庄内	園・学校数	99 園	57 校	23 校	19 校	3 校	201 校
	加盟校数	2 園	11 校	1 校	6 校	1 校	21 校
	加盟率	2.0 %	19.3 %	4.3 %	31.6 %	33.3 %	10.4 %
	メンバー数	214 名	2,357 名	409 名	539 名	37 名	3,556 名
合計	園・学校数	352 園	228 校	94 校	65 校	20 校	759 校
	加盟校数	20 園	88 校	46 校	24 校	2 校	180 校
	加盟率	5.7 %	38.6 %	48.9 %	36.9 %	10.0 %	23.7 %
	メンバー数	1,844 名	20,300 名	11,790 名	1,881 名	71 名	35,886 名

<令和5年度新規加盟校(園):8校(園)>

- 株式会社ドレミ幼稚園 ドレミ保育園
- 大江町立左沢小学校
- 河北町立西里小学校
- 寒河江市立柴橋小学校
- 鶴岡市立櫛引東小学校
- 米沢市立第六中学校
- 河北町立河北中学校
- 寒河江市立三泉小学校

(2) 青少年赤十字指導講師の委嘱

青少年赤十字活動の充実及び普及拡大並びに広く赤十字事業を推進するため、青少年赤十字加盟校の元校長を青少年赤十字指導講師として委嘱している。

[県内学校等への指導講師の委嘱状況]

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合計
1名	0名	2名	1名	4名

(3) 青少年赤十字指導講師及び支部青少年赤十字推進員の活動状況

青少年赤十字未加盟校への加盟勧奨、青少年赤十字加盟校への指導・助言、県及び市町村教育委員会との連絡調整などを行った。

[訪問回数]

青少年赤十字指導講師	支部青少年赤十字推進員	合計
119回	184回	303回

(4) 本社主催各種会議・研修会への指導者の派遣

青少年赤十字への理解と認識を高め、青少年赤十字指導者の養成を図るため、指導者を派遣した。

No	会議・研修会名	期日	場所	派遣者
1	令和5年度支部青少年赤十字担当者説明会(Web)	4月6日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 2名
2	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月30日(金)	日赤本社 (東京都)	県指導者協議会会長 1名 (山形県立山形北高等学校長)
3	第1ブロック支部青少年赤十字指導者研究会	10月3日(火)	ホテル エトロポリタン 秋田 (秋田県)	加盟校指導者 1名
4	令和5年度青少年赤十字研究会	1月12日(金)	日赤本社 (東京都)	最上教育事務所指導主事 1名

(5) 県支部主催各種会議・研修会等の開催

青少年赤十字活動の活性化を図るため、各種会議・研修会等を開催した。

No	会議・研修会名	期日	場所	参加者
1	第1回青少年赤十字指導講師打合せ会	6月6日(火)	日赤県支部 (山形市)	指導講師 4名 支部職員 4名 合計 8名
2	第2回青少年赤十字指導講師打合せ会	11月15日(水)	日赤県支部 (山形市)	指導講師 4名 支部職員 2名 合計 6名
3	青少年赤十字山形県指導者協議会理事・幹事会及び青少年赤十字研究発表会(ハイブリッド形式)	11月15日(水)	各加盟校、 指導講師自宅 及び日赤県支部 (山形市)	県教育局義務教育課課長補佐 1名 指導者協議会理事・幹事 10名 R3・R4研究推進校指導者 3名 指導講師 3名 賛助奉仕団 2名 支部職員 3名 合計 22名

(6) 防災教育出前授業の実施

青少年赤十字防災教育プログラムを活用し、防災・減災につながる出前授業を実施した。

No	学校・団体名	期日	場所	参加者
1	南陽市立漆山小学校	6月8日(木)	南陽市立漆山小学校 (南陽市)	教職員 10名 支部職員 2名 合計 12名
2	日本大学 山形高等学校	7月7日(金)	日本大学山形高等学校 (山形市)	1学年生徒及び教職員 約 320名 支部職員 2名 合計 322名
3	山形市立 大曾根小学校	9月1日(金)	山形市立大曾根小学校 (山形市)	児童 約 20名 支部職員 1名 指導講師 1名 合計 22名
4	山形市教育委員会	9月20日(水)	山形市霞城公民館 (山形市)	教職員 35名 支部職員 3名 合計 38名
5	中山町立中山中学校	11月28日(火)	中山町立中山中学校 (中山町)	1学年生徒及び教職員 約 100名 支部職員 1名 合計 101名
6	【宮城県支部主催オンライン語り部LIVE受講】 西川町立西川小学校	1月18日(木)	西川町立西川小学校 (西川町)	5、6学年児童 27名 合計 27名

No	学校・団体名	期日	場所	参加者
7	【宮城県支部主催オンライン語り部LIVE受講】 山形市立 蔵王第二中学校	2月6日(火)	山形市立 蔵王第二中学校 (山形市)	1、2学年生徒 合計 2名
8	山形市立 大曾根小学校	2月20日(火)	山形市立大曾根小学校 (山形市)	1～4学年児童 支部職員 指導講師 合計 約20名 1名 1名 22名
9	山形市立第六中学校	3月11日(月)	山形市立第六中学校 (山形市)	全校生徒 支部職員 指導講師 合計 約675名 2名 1名 678名
受講者数合計				1,224名

(7) 青少年赤十字防災かるた(山形県版)の普及

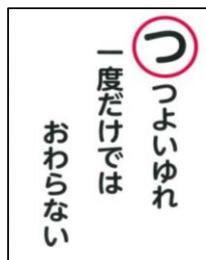
令和4年度の青少年赤十字創設100周年記念事業として、県内青少年赤十字加盟校及び青少年赤十字賛助奉仕団から提供された絵札や読み札を使用し、山形県版の青少年赤十字防災かるたを作成した。

今年度は完成したかるたの実践例を各加盟校に伝え、積極的な活用を促した。

<防災かるた活用校:12校>

- 山形市立蔵王第三小学校
- 山形市立南山形小学校
- 山形市立山寺小学校
- 西川町立西川小学校
- 山辺町立相模小学校
- 村山市立袖崎小学校
- 川西町立玉庭小学校
- 川西町立中郡小学校
- 長井市立西根小学校
- 南陽市立荻小学校
- 鶴岡市立京田小学校
- 酒田市立西荒瀬小学校

※防災かるたは支部ホームページからダウンロードして誰でも活用できるようにしている。



かるたの読み札と絵札のデザイン

小学校での実践風景

(8) 児童・生徒、メンバーの育成

① 青少年赤十字リーダーシップ研修の実施

青少年赤十字活動におけるリーダーを養成するためのリーダーシップ研修については、広域からの参加を見込み実施した。

No	研修会名	期日	場所	参加者
1	小・中学校青少年赤十字リーダーシップ研修	8月2日(水)	新庄市民プラザ (新庄市)	青少年赤十字小・中学生メンバー 青少年赤十字加盟小・中学校指導者 指導講師 青少年赤十字賛助奉仕団 支部職員 合計 35名 5名 2名 2名 2名 46名
2	第2回小・中学校青少年赤十字リーダーシップ研修(Web)	11月25日(土)	各加盟校 及び 日赤県支部 (山形市)	青少年赤十字小・中学生メンバー 青少年赤十字加盟小・中学校指導者 指導講師 青少年赤十字賛助奉仕団 支部職員 合計 30名 3名 2名 2名 2名 39名

No	研修会名	期日	場所	参加者
3	高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修 ※青少年赤十字国際交流事業(後述)と同時開催	12月22日(金) ～23日(土)	山形テルサ 及び 日赤県支部 (山形市)	青少年赤十字高校生メンバー 30名 大韓赤十字社大邱支社RCYメンバー 10名 指導者協議会会長 1名 指導講師 2名 青少年赤十字賛助奉仕団 2名 支部職員 2名 合計 47名



小・中学校リーダーシップ研修(半日研修)



高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修

② 山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会

総会や役員会等の活動を行うとともに、総会では、令和5年度の具体的な活動の方向性が提案され、承認された。

<活動方針>

- ・「正しい知識に基づき、日常において徹底して感染防止に取り組み、防災意識の向上をはかります。」
- ・「自分の意志と他者への思いやりを持ち、偏見や差別には与しません。」
- ・「3.11を忘れることなく未来につなげます。」

No	会議・研修会名	期日	場所	参加者
1	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会 第1回役員会(Web)	5月29日(月)	各加盟校 及び 日赤県支部 (山形市)	県高等学校連絡協議会役員 16名 支部職員 2名 合計 18名
2	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会 第2回役員会(Web)	7月31日(月)	各加盟校 及び 日赤県支部 (山形市)	県高等学校連絡協議会役員 17名 支部職員 2名 合計 19名
3	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会総会 及び研究集会(Web)	8月9日(火)	各加盟校 及び 日赤県支部 (山形市)	青少年赤十字高校生メンバー 61名 青少年赤十字加盟高等学校指導者 3名 県指導者協議会会長 1名 指導講師 2名 青少年赤十字賛助奉仕団 3名 支部職員 3名 合計 73名
4	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会 第3回役員会	9月16日(土)	山形テルサ (山形市)	県高等学校連絡協議会役員 14名 支部職員 2名 合計 16名
5	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会 第4回役員会(Web)	11月1日(水)	各加盟校 及び 日赤県支部 (山形市)	県高等学校連絡協議会役員 16名 支部職員 2名 合計 18名
6	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会 第5回役員会	3月10日(日)	山形テルサ (山形市)	県高等学校連絡協議会役員 20名 支部職員 1名 合計 21名

(9) 青少年赤十字国際交流事業

交流の機会を通じて、平和な国際社会の実現を目指すとともに、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」の実践の機会とするため、大韓赤十字社大邱支社RCYメンバー及び指導者を受け入れた。

なお、プログラムの一つとして、前述の高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修を組み込んだ。

名称	期日	場所	参加者
令和5年度青少年赤十字国際交流事業	12月22日(金) ～25日(月)	山形市内、他	大韓赤十字社大邱支社訪問団 14名 (RCYメンバー10名、指導者1名、職員3名)
			青少年赤十字高校生メンバー 30名
			支部職員 7名
			血液センター職員 4名
			合計 55名

内容

- ・日韓高校生の合同研修(高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修として)
 - ※防災に関するワークショップ、東日本大震災の語り部の講話聴講、意見交換等
- ・支部事業及び血液事業の説明、施設見学
- ・山形県の文化体験



ワークショップや意見交換を通して交流を深めた

(10) 研究推進校の委嘱

活発な青少年赤十字活動を推進するため、研究推進校として7校を委嘱し、1校につき7万円の助成金を交付した。

No	学校名	テーマ	委嘱年度
1	学校法人仙英学園 認定こども園 ゆりかご幼稚園	自分の命、みんなの命を大切にする子ども ～気付く目、思いやりの心、 考えて行動する力の育成～	令和4年度 ～令和5年度
2	天童市立千布小学校	「自分で考え、動ける子供」の育成	
3	長井市立長井北中学校	地域への貢献活動の推進 ～主体的に考え、 行動する生徒を目指して～	
4	酒田市立第六中学校	相手を思いやり、 社会で生きる力を伸ばす生徒をめざして ～校は『六華の心』と 青少年赤十字の理念を活動に～	
5	山形市立南山形小学校	「気づき」「考え」「実行する」 自分も仲間も大切にする子どもの育成	令和5年度 ～令和6年度
6	天童市立第一中学校	ボランティア活動や奉仕活動を通した心の教育	
7	山形県立酒田西高等学校	いのちへの思いを社会に発信する活動 ～「RDD in 酒田西高」活動を通して～	
助成金交付合計額		490,000円(7校×70,000円)	

5 國際活動

国際赤十字の一員として、開発途上国における健康・安全の確保や、海外の災害や紛争の被災者支援など、海外の救援・支援ニーズにあわせた人道的活動を展開する。

(1) 第1ブロック支部合同国際活動

本社が直接実施している海外での救援及び開発協力活動のうち、次の活動について、北海道・東北ブロック支部共同事業として資金の支援を行った。

No	事業名	支援先	金額
1	救急法普及支援事業	ラオス	180,000 円
2	青少年赤十字海外支援事業	バヌアツ	180,000 円
3	気候変動等レジリエンス強化事業	ルワンダ	180,000 円
4	気候変動対策事業	アフガニスタン	180,000 円
合計			720,000 円

(2) ベトナム教育支援事業

県高等学校青少年赤十字連絡協議会が中心となり、書き損じはがき回収活動による資金を原資として、ベトナムの貧困地域の子どもたちへの学用品セットの贈呈及び県内青少年赤十字メンバーと現地メンバーとの交流を図る計画としていたが、ベトナム赤十字社の事情により、メンバーの派遣については中止することとし、学用品の贈呈について調整中である。

(3) 海外救援事業のための募金活動

① 海外救援金の受付

海外における自然災害の被災者や紛争犠牲者等を支援するため、海外救援金を受け付けている。

No	救援金名	件 数	金 額
1	中東人道危機救援金	1 件 (88 件)	20 円 (326,630 円)
2	バングラデシュ南部避難民救援金	2 件 (117 件)	1,011 円 (136,445 円)
3	アフガニスタン人道危機救援金	2 件 (114 件)	1,271 円 (129,886 円)
4	ウクライナ人道危機救援金	167 件 (837 件)	2,712,424 円 (33,780,523 円)
5	2023年トルコ・シリア地震救援金	95 件 (438 件)	2,634,871 円 (7,376,717 円)
6	2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	160 件 (160 件)	169,607 円 (169,607 円)
7	2023年モロッコ地震救援金	150 件 (150 件)	124,361 円 (124,361 円)
8	2023年リビア洪水救援金	121 件 (121 件)	86,354 円 (86,354 円)
9	2023年アフガニスタン地震救援金	136 件 (136 件)	116,712 円 (116,712 円)
10	イスラエル・ガザ人道危機救援金	139 件 (139 件)	403,641 円 (403,641 円)
11	海外救援金(無指定)	0 件	0 円
合 計		973 件 (2,300 件)	6,250,272 円 (42,650,876 円)
12	令和5年度NHK海外たすけあいキャンペーン寄付金	265 件	806,653 円
合 計		1,238 件 (2,565 件)	7,056,925 円 (43,457,529 円)

※()内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

② NHK海外たすけあいキャンペーンの実施

12月1日～25日まで実施した同キャンペーンの一環として、赤十字奉仕団員及び青少年赤十字メンバーから協力を得て、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じ街頭募金活動を実施した。

支部主体で実施した商業施設4ヶ所のほか、昨年度に引き続き、地域奉仕団主体での街頭募金活動を県内7か所で実施し、多くの県民の方々からご協力をいただいた。

期 日	場 所	参 加 者
12月3日(日) 及び 12月23日(土)	県内スーパー・マーケット 及び公共施設等 計11ヶ所 (支部主体4ヶ所、奉仕団主体7ヶ所)	赤十字奉仕団 86名 青少年赤十字中・高校生メンバー 35名 支部職員 11名 合計 132名



県内各地で多くの県民の方々から多くのご協力をいただいた

(4) 国際活動に関する勉強会・セミナーへの参加

海外における災害や人道危機に対する赤十字社の活動への理解を深め、国際活動について一般の人々に説明するための知識を学ぶ勉強会に支部職員が参加した。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
1	国際活動オンライン勉強会(Web)	9月20日(水) 10月4日(水) 10月25日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
2	国際人道法セミナー(Web)	1月15日(木) ～16日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 2名

6 財政基盤の強化

安定的な財政基盤を構築するため、地区分区及び関係機関の理解と協力を得ながら、活動財源である会費及び寄付金の募集を行うとともに、赤十字事業を推進するために、企業や団体と双方向での有益な関係作りを図る。

(1) 社資(会費及び寄付金)収入状況

地区分区における社資募集については、地域に根差した社資募集を実施いただいた。

支部における社資募集については、法人社資の増強方策として、昨年に引き続き個別訪問による協力依頼を県内262社を対象に実施するなど、財政基盤の安定強化に取り組んだ。

項目	目標額	収入額	収入率
地区分区取扱社資	一般社資 208,998,000 円	188,248,174 円	90.9 %
	法人社資	1,827,040 円	
	計	208,998,000 円	
支部取扱社資	一般社資 5,157,000 円	7,231,239 円	140.2 %
	法人社資 26,576,000 円	23,887,767 円	89.9 %
	計 31,733,000 円	31,119,006 円	98.1 %
個人住民税控除適用海外救援金		160,000 円	
合 計	240,731,000 円	221,354,220 円	92.0 %

(2) 赤十字寄付金付自動販売機の設置の普及

企業や団体、地区分区に対して、売上の一部が赤十字への寄付金となる自動販売機の設置について広く普及に努めた。

区分	設置先	設置台数	寄付額
企業・団体	12ヶ所	14台	220,757円
地区分区	2ヶ所	2台	8,660円
支 部	1ヶ所	1台	13,777円
合 計	15ヶ所	17台	243,194円



県庁1階北側出入口前
設置自動販売機

(3) 遺贈・相続財産寄付の受入体制の強化

地区分区及び県内金融機関、専門機関から協力いただき、遺贈・相続財産寄付パンフレットを作成・設置するとともに、山形県司法書士会との連携に向けて、現在調整中である。

(4) 本社主催等の各種研修・行事等の開催

社業振興の推進を図るため、各種会議・研修会を開催したほか、職員を派遣した。

No	行事名	期 日	場 所	派遣者
1	第1回地区分区幹事会議	4月13日(木)	山形県 自治会館 (山形市)	地区分区幹事 他 38名
				支部・センター職員 11名
				合 計 49名
2	地区分区事務担当者会議	4月20日(木)	山形県 自治会館 (山形市)	地区分区事務委員 35名
				支部職員 10名
				合 計 45名

No	行事名	期日	場所	派遣者
3	全国赤十字大会	5月18日(木)	東京都 明治神宮会館 (東京都)	代表受賞者 1名 理事・代議員・有功会員 4名 奉仕団員 2名 JRC指導者 3名 救急法等指導員 2名 地区分区幹事 他 9名 支部・センター職員 7名 合計 28名
4	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第1回) (Web)	6月6日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名
5	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第2回) (Web)	6月15日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名
6	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第3回) (Web)	6月20日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 4名
7	第1ブロック支部組織振興課長 会議	7月5日(水) ～6日(木)	日赤秋田県支部 (秋田県)	支部職員 1名
8	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第4回) (Web)	8月29日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 4名
9	全国支部振興業務担当課長 会議(Web)	8月30日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
10	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第5回) (Web)	9月5日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名
11	第1ブロック支部組織振興担当 者研究会	9月5日(火) ～6日(水)	日赤北海道支部 (北海道)	支部職員 1名
12	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第6回) (Web)	9月12日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 4名
13	日本赤十字社ファンドレイ ジングセミナー2023	10月5日(木) ～6日(金)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
14	第2回地区分区幹事会議	11月16日(木)	山形市総合 スポーツセンター (山形市)	地区分区幹事 他 34名 支部・センター職員 9名 合計 43名
15	遺贈・相続財産寄付にかかる ウェビナー(第7回) (Web)	3月6日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名

(5) 令和5年山形県赤十字大会の開催

新型コロナ感染症により令和4年から延期していた令和5年山形県赤十字大会について、日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、赤十字事業の推進に貢献された方々を顕彰し、県民及び赤十字関係者との連携を一層強化し会員増強を図るとともに、赤十字思想の普及及び事業活動を推進するため、山形市の山形県総合文化芸術館を会場に開催し、付随行事として以下の事業を開催した。

◆ 令和5年山形県赤十字大会 式典

日 時 令和5年7月13日(木) 10:00～11:15

会 場 山形県総合文化芸術館

参 会 者 数 687名

代表受賞者数 44名



【内訳】

金色有功章	36名	紺綬褒章	1名
日本赤十字社社長感謝状	6名	厚生労働大臣感謝状	1名

- ◆ 日本赤十字社名誉副総裁 高円宮妃殿下 御歓迎昼食会
 日 時 令和5年7月13日(木) 12:30～14:00
 会 場 メトロポリタン山形 4階「霞城」
 参会者数 159名



天童市立第一中学校での活動発表会ご視察

- ◆ 日本赤十字社名誉副総裁 高円宮妃殿下 御視察
 ① 青少年赤十字活動発表会
 7月12日(水)／天童市立第一中学校
 ② 献血会場御視察
 7月12日(水)／日東ベスト㈱山形工場

(6) 赤十字関係者の集い「もっとクロス！やまがた」の開催

赤十字活動の推進のため、赤十字を支える個人並びに関係団体と情報を共有し、互いの連携強化を図りながら絆を深めるために、「もっとクロス！やまがた」を開催した。

日 時 令和6年1月26日(金) 15:30～19:30

会 場 山形国際ホテル

参 加 者 数 230名

内 容 ①活動報告

- ・頻発する災害に対する日本赤十字社の対応
- ・令和6年能登半島地震にかかる山形県支部の対応

・支部、血液センターの上半期事業報告



もっとクロス！やまがたの様子

②活動発表

- ・青少年赤十字部門、救急法等講習部門、赤十字ボランティア部門、献血活動部門

③表彰伝達式

- ・個人3名、法人22社

(7) 赤十字功労者に対する顕彰

赤十字事業の推進に多大な功労のあった方々に対し、その功績を称え、顕彰を行った。

① 社資功労及び業務功労功労者に対する表彰状況

ア 社資功労

※ 日本赤十字社有功章等贈与贈与規則に基づく

功労区分 表彰区分	日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章	銀色有功章	支部長 感謝状	支部長 表彰状	合 計
社資(個人)	2	21	6		4	33 件
社資(法人)	24	33	15			72 件
合 計	26	54	21	0	4	105 件

イ 業務功労

※ 日本赤十字社有功章等贈与贈与規則に基づく

功労区分 表彰区分	日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章	銀色有功章	金枠支部長 感謝状	銀枠支部長 感謝状	合 計
役 職		3				3 件
協賛委員		5	8	23	55	91 件
奉仕者		2	4	2	1	9 件
献血者						0 件
青少年赤十字指導者		1				1 件
奉仕団						0 件
青少年赤十字加盟校	12	2	5	4	8	31 件
献血団体		1		3	4	8 件
献血推進団体		1			1	2 件
合 計	12	15	17	32	69	145 件

表彰制度について

赤十字活動資金のご協力に対しては、日本赤十字社や国からの表彰制度がございます。

■ 国の表彰

紺綬褒章(個人500万円以上、法人1,000万円以上)

厚生労働大臣感謝状(個人100万円以上、法人300万円以上)

※一時または同一年度の累計

■ 日本赤十字社社長感謝状

金色有功章受章後、
50万円以上納められた都度

■ 金色有功章 50万円以上を納められた方

(個人)



金色有功章章記



徽章



男章



女章



セト門標

(法人)



金色有功章楯



徽章



セト門標

■ 銀色有功章 20万円以上を納められた方

(個人・法人)



銀色有功章楯



徽章



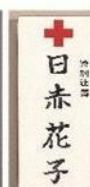
セト門標

■ 特別社員

会費2,000円×10年または
一括20,000円を納められた方



特別社員章



セト門標

(8) 赤十字会員等に対する弔意

長年にわたり、赤十字を支えていただいた赤十字会員等がご逝去された際に、弔詞及びロウソクを奉呈し、弔意を表した。

種類	弔詞	無地ロウソク(2本組)	絵ロウソク(2本組)
地区分区への送付数	10,296部	4,081セット	6,535セット

7 広報活動

より多くの人々から、赤十字事業を正しく理解いただくため、周知と普及を図る。

(1) 広報誌「赤十字やまがた」の発行

5月の赤十字運動月間に合わせ、県民に広く赤十字運動に参加いただくため、全戸配付用広報誌を37万2千部発行し、地区分区を通じて配付した。

(2) 赤十字NEWSによる情報発信

「赤十字NEWS」を赤十字関係者に毎月送付するとともに(700部／月)、会員向け情報誌「Cross Com-BOOK」を希望する赤十字会員に対し年2回送付し、情報発信に努めた。

(3) 支部ホームページ及びソーシャルメディアによる情報発信

災害救護をはじめとする支部の取り組みや県内赤十字関係者の活動について、支部ホームページに加えて、若年層を中心としたソーシャルメディア利用者にも情報発信していくことを目的に支部専用ソーシャルメディアアカウントから、積極的に情報を発信した。

[ソーシャルメディアアカウント]

区分	名前	ユーザー名	QRコード
X (旧・Twitter)	日本赤十字社山形県支部	@nissekiyamagata	
Instagram		nisseki_yamagata	

(4) メディアを活用した広報

赤十字事業の周知と普及を図るため、県内各報道機関より協力をいただき、広報活動を実施した。

① テレビによる広報

5月の赤十字運動月間及び年間を通じた赤十字活動広報用CMを作成し、報道機関4社から放映にご協力いただき、県民への赤十字活動への周知を図った。

また、12月にはYTS山形テレビの番組コーナーに出演し、山形県支部の活動内容について紹介した。

② 新聞広告による広報

広く赤十字事業をご理解をいただくため、5月の赤十字運動月間に合わせて、支部事業の紹介及び赤十字会員への加入促進に努めた。

また、9月1日の「防災の日」に向けて、8月30日に赤十字の防災・減災にかかる取り組みを紹介した。



運動月間用CMの放映



運動月間新聞広告の掲載

(5) レッドライトアッププロジェクトの実施

5月の赤十字運動月間に、赤十字を広く国民に周知することを目的に全国各地の赤十字施設や歴史的建造物を赤十字のシンボルカラーである赤色に照らす「レッドライトアッププロジェクト」について、本県では常安寺五重塔(天童市)を会場に実施した。

期 間	場 所
5月5日(金)～7日(日)	常安寺五重塔(天童市)



常安寺五重塔の様子

(6) 赤十字フェスタ及び地域イベントの実施

県民から広く赤十字事業にご理解とご協力をいただくため、赤十字活動を実際に見て、触れて体験いただく赤十字フェスタを県内商業施設に協力いただき実施した他、他団体のイベントに赤十字ブースを出展した。

No	主催者・イベント名	期 日	場 所	参加者
1	イオンモール三川 「はたらくクルマ展」	6月11日(日)	イオンモール三川 (三川町)	来場者 500 名 赤十字奉仕団員 4 名 支部・血液センター職員 9 名 合計 513 名
2	高畠町赤十字奉仕団 「2023赤十字フェスタ in たかはた」	9月23日(土)	糠野目生涯学習館 (高畠町)	来場者 250 名 赤十字奉仕団員 18 名 救急法等指導員 2 名 支部・センター職員 9 名 合計 279 名
3	「防災フェスティバル in イオンモール天童」	3月20日(水)	イオンモール天童 (天童市)	来場者 80 名 支部・センター職員 9 名 合計 89 名



非常炊き出しの方法を学ぶ来場者



赤十字車両の乗車体験

(7) 山形花笠まつりパレードへの参加

県民に対する赤十字活動のPRを目的に救急法等指導員、赤十字奉仕団員、青少年赤十字メンバー、日赤職員が参加した。

主催者・イベント名	期 日	場 所	参加者
山形花笠まつりパレード	8月6日(日)	七日町通り (山形市)	奉仕団員 13 名 青少年赤十字メンバー 9 名 救急法等指導員 3 名 血液センター職員 21 名 支部職員 12 名 合計 58 名



花笠パレード参加の様子

(8) 赤十字広報資材(赤十字広報パック)貸出事業の実施

県民に広く赤十字事業へのご理解とご協力をいただくため、行事・イベント等で活用いただくための広報資材(赤十字事業紹介用パネル、救援物資サンプル等)を貸し出し、赤十字活動のPRに努めた。

No	活用行事名	期間	貸出先
1	赤十字会員増強運動説明会	5月24日(水)～25日(木)	日赤山形市地区
2	川西町健康レクリエーション大会	6月22日(木)	日赤川西町分区
3	日本赤十字社山形県支部広報活動	7月3日(月)～31日(月)	日赤南陽市地区
4	防災×福祉×男女共同参画セミナー	7月15日(土)	日赤高畠町分区
5	川西町総合防災訓練	8月27日(日)	日赤川西町分区
6	高畠町総合防災訓練	9月10日(日)	日赤高畠町分区
7	山形市立第五小学校 「五小ふるさと秋まつり」	10月14日(土)	山形市第五地区赤十字奉仕団
8	寒河江市福祉と健康フェア	10月16日(月)～20日(金)	日赤寒河江市地区

(9) 市町村主催イベントへの赤十字PRブースの出展

県民に広く赤十字事業へのご理解とご協力をいただくため、市町村主催のイベントに赤十字のPRブースを出展し、赤十字活動のPRに努めた。

No	活用行事名	期間	貸出先
1	健康づくり強調月間	10月1日(日)～31日(火)	日赤鶴岡市地区
2	東日本大震災追悼・復興祈念事業	3月11日(月)～14日(木)	東日本大震災追悼・復興祈念事業実行委員会

(9) 広報ブロックミーティングへの職員の派遣

今後の広報戦略について本社と第1ブロック支部で意見交換を行うため、本社主催広報ブロックミーティングに職員を派遣した。

行事名	期日	場所	派遣者
広報ブロックミーティング	2月19日(月)	日赤宮城県支部 (宮城県)	支部職員 2名

8 血液事業

県民の健康と生命を守るため、県、市町村及び関係団体と連携しながら、献血推進啓発活動を行った。

多くの県民の皆様に献血にご協力いただき、前年度と比較し100.4%の実績となり、需要に応じた献血血液の確保に努めた。

[献血実績]

(単位:人)

	令和5年度		令和4年度		対前年比		
	献血者数		献血者数				
	移動採血車	献血ルーム	移動採血車	献血ルーム			
全血献血	29,555	24,043	5,512	28,764	23,956	4,808	102.7%
成分献血	12,691	-	12,691	13,308	-	13,308	95.4%
合計	42,246	24,043	18,203	42,072	23,956	18,116	100.4%

※血液事業の詳しい状況については、別途「令和5年度血液センター事業実施概要」をご参照ください。

令和5年度 血液センター事業実施概要

1 血液製剤の供給実績

当センターでは、医療機関に安定的に血液製剤を供給するため、3日分の在庫を保有し、東北ブロック血液センターから1日に2回定時搬入をする体制をとっている。

心臓血管外科での手術及び血液疾患の増加により、赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤の使用がいずれも増加し、前年度比105.2%となったが、安定的に供給できた。

区分	令和5年度実績 (単位)	令和4年度実績 (単位)	対令和4年度比
赤血球製剤	53,850	52,940	101.7%
血漿製剤	17,276	15,488	111.5%
血小板製剤	64,810	60,820	106.6%
合計	135,936	129,248	105.2%

※単位換算について

赤血球製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位として換算

血漿製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位、「成分献血由来」を4単位として換算

血小板製剤：1単位 20mL で換算

2 献血実績

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、移動採血では、通常の献血実施形態に戻ってきている。また、献血ルームにおいては、コロナ禍で献血を控えていた献血者が戻りつつあることから、葉書やメールにて協力依頼を行い、多くの県民の皆様からご協力をいただき、前年度比で100.4%の実績となった。

(1) 献血者数

(単位：人)

	令和5年度			令和4年度			対令和4年度比
	合計	移動採血車	献血ルーム	合計	移動採血車	献血ルーム	
全血献血	29,555	24,043	5,512	28,764	23,956	4,808	102.7%
200mL 献血	792	305	487	985	583	402	80.4%
400mL 献血	28,763	23,738	5,025	27,779	23,373	4,406	103.5%
成分献血	12,691		12,691	13,308		13,308	95.4%
血漿	7,085	-	7,085	8,719	-	8,719	81.3%
血小板	5,606		5,606	4,589		4,589	122.2%
合計	42,246	24,043	18,203	42,072	23,956	18,116	100.4%

(2) 重点項目

医療機関からの需要及び輸血による安全性向上のため、400mL 献血の推進を図るとともに、輸血用血液を安定的に確保するため、移動採血の稼働効率化を図ることを重点項目としており、400mL 献血率は、目標値 97.1%に対し 97.3%、移動採血車 1 稼働あたりの献血者数は、目標値 45 人以上に対し 43.6 人となった。

ア 400mL 献血率

目標値	全血献血者数	200mL 献血数	400mL 献血数	400mL 献血率
97.1%	29,555 人	792 人	28,763 人	97.3%

イ 移動採血車 1 稼働あたりの献血者数

目標値	献血者数	稼働数	1 稼働あたりの献血者数
45 人	24,043 人	552 台	43.6 人

(3) 定点献血等の実施状況

定点献血会場として、大型ショッピングセンター等で定期的な献血を実施し、前年度比 98.8% の献血実績となった。

(単位：人)

会 場	実 施 日	令和5年度			令和4年度			対令和4年度比
		回数	献血者 総数	1稼働 あたり	回数	献血者 総数	1稼働 あたり	
イオン山形北店	年4回	4	194	48.5	3	157	52.3	123.6%
イオンモール山形南	年4回	4	177	44.3	6	268	44.7	66.0%
イオンモール天童	年12回	15	747	49.8	15	802	53.5	93.1%
イオン東根店	奇数月第1土曜日	10	512	51.2	8	451	56.4	113.5%
イオン米沢店	年 7 回	8	410	51.3	7	430	61.4	95.3%
鶴岡協同の家こひあ	毎月第2土曜日	12	704	58.7	12	737	61.4	95.5%
イオンモール三川	毎月第4土曜日	16	903	56.4	16	861	53.8	104.9%
計		69	3,647	52.9	67	3,706	55.3	98.4%
陸上自衛隊神町駐屯地		4	184	46.0	4	173	43.3	106.4%
合計		73	3,831	52.5	71	3,879	54.6	98.8%

※臨時実施含む

(4) 原料血漿の確保実績

血漿分画製剤の原料となる血漿は、安全性の確保並びに倫理的な見地から、その全てを国内の献血でまかなう方針が国から示されており、国内自給率100%達成に向けて割り当てられた目標量を確保した。

令和6年3月末時点

原料血漿確保目標	確保実績	実績／目標量
77,603L	81,412L	104.9%

※広域事業運営体制のため、青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島6県分の合算の数値

3 献血の普及啓発

(1) 各種団体等との連携

ア ライオンズクラブ国際協会332-E地区献血推進研究会

実施日	実施会場	内 容
10月11日 (水)	パレスグランデール (山形市)	・活動優秀クラブ表彰及び活動事例報告 ・各クラブ年間活動実施計画及び報告 ・献血アプリサービス「ラブラッド」の活用 ・「献血1万人運動」の更なる推進に関する協議 ・若年層献血者の増加に向けての協議

県内各ライオンズクラブでは「献血1万人運動」を目標の1つに掲げ、次の通り献血推進活動に積極的に協力いただいている。

- (ア) 県内商業施設における定点献血及び街頭献血での勧誘、記念品進呈
- (イ) 高等学校及び大学等、若年層献血者に対する記念品進呈
- (ウ) クラブ会員所属企業における献血及び記念品進呈
- (エ) 各ライオンズクラブ主催での献血実施
- (オ) 献血ルームでの献血協力

イ 献血セミナーの開催

若年層の献血者確保を図るべく、将来の献血を担う高校生等や子育て世代の親子を対象に、血液や献血に対する正しい知識を学んでもらうことを目的に、献血セミナーを実施した。

	小学校	高等学校	大学	その他	計	令和4年度
実施回数	4回	52回	24回	24回	104回	94回
参加人数	45人	9,316人	1,083人	1,168人	11,612人	7,336人

ウ 学生ボランティアの育成

若年層の献血者を確保するため、同年代に対し献血の必要性を呼びかけてもらうことを目的に形成している県内の大学・短大・専門学校の学生を中心としたボランティア組織を拡充・活用し、学生献血推進ボランティアによる献血セミナーにも取り組んでいるほか、各校内での推進活動及びSNSでの広報活動等を展開した。

【学生献血推進ボランティア】

山形大学、山形大学農学部、山形大学工学部、山形県立保健医療大学

山形県立米沢女子短期大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学



けんけつルーム親子で見学ツアーの様子



献血セミナーの様子
(新庄東高校)

(2) 広報及びキャンペーン等活動

ア 広報活動

献血者確保のため、広く県民に献血の普及啓発を図るべく、ホームページを通じ積極的に情報発信するとともに、県内報道機関への情報提供及び取材要請を実施した。

- ・ ホームページによる情報発信（通年）
- ・ SNS（X）による情報発信（通年）
- ・ つなげ、その「ち」からプロジェクト
　　テレビ、ラジオ、WebCMの放送（令和5年9月6日～令和6年4月30日）
- ・ 「はたちの献血」キャンペーン
　　テレビ、ラジオ、WebCMの放送（令和6年1月1日～令和6年2月29日）
- ・ 献血普及啓発テレビCM「折り紙チッチ」篇の制作・放送（令和2年3月から継続）
- ・ 県内各報道機関への献血予定情報の提供（通年）
- ・ 県内各報道機関へのプレスリリースの発信（通年）
- ・ モンテディオ山形と連携した広報活動の展開（通年）
- ・ パスラボ山形ワイヴァンズと連携した広報活動の展開（通年）
- ・ 県内市町村主催二十歳の祝賀式における広報資材の配付（随時）

イ 各種キャンペーン等の展開

各種キャンペーン及びイベントを実施し、献血協力を呼びかけた。

・全国キャンペーン

実施月	名 称
4月	めぐる献血（昨年度から実施）
6月	世界献血者デー（6月14日） ※ ABO式血液型を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した カール・ラントシュタイナー氏の誕生日
7月	愛の血液助け合い運動
8月	コミックマーケット102 献血応援イベント
9月	『つなげ、その「ち」から』プロジェクト（9月～4月） シャレン！で献血 ※明治安田生命保険相互会社、公益社団法人日本プロサッカーリーグ及び日本 赤十字社の3者連携による実施 全国各地のJリーグホームゲーム及び献血ルームにおいて献血を展開 <県内の実施> 10月1日：ホームゲーム献血（モンテディオ山形×徳島ヴォルティス戦） 9月1日～12月30日：献血ルームSAKURAMBOにてキャンペーン開催
12月	全国学生クリスマス献血キャンペーン2023 コミックマーケット103 献血応援イベント（12月～1月）
1月	はたちの献血キャンペーン（1月～2月）

・血液センター主催

やまがた春の献血キャンペーン 2023	令和5年4月1日（日）～30日（日） ※3月からの延長
春期の10代～20代の若年層献血者確保を図るため、10代～20代の献血者で希望者に対し、オリジナル記念品を進呈した。	
山形県学生献血サマークリーン 2023	令和5年8月6日（日）～20日（日）内の 一部街頭献血会場にて開催
夏場の献血者確保を図るため、県内的一部街頭献血会場にて、献血にご協力いただいた方に、学生ボランティアが企画したオリジナル記念品を進呈した。	
やまがた春の献血キャンペーン 2024	令和6年3月1日（金）～4月30日（火）
春期の献血者確保の強化、及び10代～30代の若年層献血者に対する推進を図るために、10代～30代の献血者に対し、オリジナル記念品を進呈した。	
つなげ、東北の「ち」から。 米（マイ）献血予約キャンペーン ※東北6県合同企画	令和6年3月1日（金）～3月31日（日）
献血の予約率向上に向けた予約の強化、及びラブラッド新規登録者のさらなる増加を図るため、事前予約のうえ献血にご協力いただいた方に、東北6県産のブランド米を進呈した。	

・献血ルーム SAKURAMBO 主催

成分献血次回予約キャンペーン	令和5年4月3日（月） ～令和6年3月29日（金）
平日の成分献血者確保及び献血事前予約率の向上を目的に、献血終了後、次回の献血予約（平日の成分献血）をいただいた方へ、記念品を進呈した。	
献血ルームでクールシェア!! Summer 献血キャンペーン	令和5年7月1日（土）～9月30日（土）
夏の暑い時期に、献血ルームを涼める場所としてPRし、献血者に快適な場所を提供する「クールシェア」を展開。また、期間中の平日にご予約で献血に協力いただいた方へ、記念品として「冷やしシャンプー」等を進呈した。	
モンテディオ山形応援キャンペーン 「モンテ応援デー」	令和5年2月16日（木） ～11月14日（火）、 11月22日（水）～24日（金） ※期間内の毎週火曜日・木曜日（平日のみ） およびプレーオフまでの期間
毎週火曜日と木曜日を「モンテディオ山形応援デー」とし、特に使用期限の短い血小板製剤を安定的に医療機関に届けられるよう平日の成分献血の協力を求めた。期間中の毎週火曜・木曜に成分献血に協力いただいた方へお菓子を進呈した。	

夏休みの自由研究に!! けんけつルーム親子で見学ツアー	令和5年8月3日(木)～8月4日(金)
小学生向け夏休みの自由研究に活用できるよう、親子で献血ルームの見学とけんけつセミナーを実施した。当日は、献血ルームのほか血液センター供給部門ともオンラインで結び、医療機関へ血液を届ける役割部門の理解を深めた。親子合計8組が参加した。	
県立図書館×献血ルーム SAKURAMBO 連携イベント 本の森講座 図書館で学ぼう！いのちを救う「けんけつ」	令和6年2月1日(木)～2月29日(木) ※親子向けイベントは2月10日(土)のみ
県立図書館を会場として、一か月間の企画展を実施し献血の普及啓発および献血ルーム SAKURAMBO の認知度向上を図った。また、イベントでは主に子育て世代の親子を対象とし、供給部門と連携した「オンライン見学ツアー」を含む献血セミナー、手作りの献血チラシづくりワークショップを実施した。親子向けイベントには50名が参加した。	
山形調理師専門学校 ×献血ルーム SAKURAMBO 連携イベント	令和6年2月1日(木)～2月14日(水)
冬季期間における献血者の確保および献血の普及啓発、特に記念品の調理を担当する専門学生と同じ若い世代への献血推進を図った。期間中に献血ルームにおいて献血にご協力いただいた方へ、山形調理師専門学校の生徒が作成した「けんけつ応援クッキー」を合計800人分進呈した。	
※「けんけつ応援クッキー」は、レーズン等血液に必要な鉄分を含んだ素材を使用したオリジナルレシピのクッキー	



全国学生クリスマス献血キャンペーン2023
(イオン米沢店)



献血推進キャラクター“チッチ”おりがみVer.

CM「折り紙チッチ」編

(3) 複数回献血協力及び献血予約の推進

複数回献血協力の推進を図るため、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の登録を奨励し、新規登録者数は前年度比 105.1% であった。また、医療機関からの需要に応じた輸血用原料血液の安定確保や、献血される方の密集・密接回避等を目的に、ラブラッドアプリによる「献血予約」、「事前 Web 問診回答機能」の活用を推進した。

令和5年度 新規登録者数	令和4年度 新規登録者数	対令和4年度比	県内 登録者累計
4,595 人	4,372 人	105.1%	28,409 人

4 調査、研究事業の推進

輸血医療の質的向上を目的とした調査研究事業を推進し、適正かつ安全な輸血療法の向上をめざし、県と合同で山形県の血液使用量の 95.6% 以上を占める 26 医療機関とともに県合同輸血療法委員会を開催した。

(1) 山形県合同輸血療法委員会での取り組み

- ア 廃棄血削減に関する取り組み
- イ 適正な輸血の実施に向けた取り組み
- ウ 地域連携を基盤とした取り組み

(2) 委員会の開催と学会等への参加

実施日	名 称	場 所	摘要
5月11日（木）～13日（土）	第71回日本輸血・細胞治療学会総会	幕張メッセ 及びWEB開催	血液センター職員 4名(WEB)参加
6月18日（月）	第25回山形県合同輸血療法委員会	WEB開催	委員37名参加
7月5日（水）	第4回山形県合同輸血療法委員会 看護師部会	山形県赤十字 血液センター	委員11名参加
9月16日（土）	第123回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会	岩手県民情報 交流センター	血液センター職員 5名(現地)参加
10月3日(火) ～5日(木)	第47回日本血液事業学会総会	ウインク愛知	血液センター職員 10名参加 (現地9+WEB1)
10月18日(水)	山形県合同輸血療法委員会 看護師部会研修会 in 公立置賜総合病院 ～輸血に関するQ&A～	WEB開催	公立置賜総合病院 15名、委員2名、 事務局2名参加
10月28日(土)	徳洲会病院東北ブロック輸血研修会	山形徳洲会病院	講師として 1名参加
11月18日(土)	第26回合同輸血療法委員会 及び 第10回山形輸血療法セミナー	山形県赤十字 血液センター 及びWEB開催	現地9名、 WEB参加29名、 事務局8名参加
12月2日(土)	令和5年度赤十字血液シンポジウム東北	TKPガーデン シティ仙台 及びWEB開催	現地9名、 WEB1名参加
12月4日(月)	山形県合同輸血療法委員会看護師部会 研修会(上山・置賜・庄内)	WEB開催	対象医療機関 63名、委員6名、 事務局2名参加
12月18日(月)	山形県合同輸血療法委員会看護師部会 研修会(天童以北の村山・最上)	WEB開催	対象医療機関 70名、委員6名、 事務局2名参加
1月15日(月)	山形県合同輸血療法委員会看護師部会 研修会(山形市内)	WEB開催	対象医療機関 110名、委員6名、 事務局2名参加
2月6日(火)	看護師と臨床検査技師の合同学習会	WEB開催	203名、委員6名、 事務局2名参加
3月9日(土)	第124回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会	ホテル福島 グリーンパレス	血液センター職員 3名現地参加

5 研修の受入

輸血医学事業の一環として、山形大学医学部生等を対象に、血液事業及び輸血医療に関する研修を実施した。

実施月	名 称	医療機関等	人数
通年	学外臨床研修	山形大学医学部	104 名
8, 9, 10 月	初期研修医研修	日本海総合病院	3 名

6 造血幹細胞提供支援の実施

造血幹細胞提供支援機関として、骨髓ドナー登録希望者に対し、事前説明及び登録受付を献血会場にて実施した。

令和5年度新規登録者数	県内登録者累計
616 人	8,365 人

7 血液センターの移転計画

血液センターの移転場所として、山形県農業共済組合（NOSAI 山形）跡地（山形市落合町字千歳 95-1 外）の土地及び建物を取得し、改修して使用することとした。また、駐車場及び冬期の除雪スペースとして、隣接する農地を併せて購入した。

移転にかかる設計及び建築（改修）工事については、令和5年度から令和6年度の計画とし、令和7年3月に竣工予定としている。

時 期	項 目
令和5年3月	不動産契約（NOSAI 山形跡地及び隣接農地）
令和5年6月	不動産登記（NOSAI 山形跡地）
7月	設計監理業者契約
9月	農振除外及び農地転用許可 不動産登記（隣接農地）
令和6年5月	改修工事施工業者契約
6月～令和7年3月	改修工事施工
令和7年3月	竣工